

NISSIN SERVICER  
IR PERSONALITY

第7期 第3四半期報告書

平成19年4月1日 ▶ 平成19年12月31日



代表取締役社長  
 ごうだますみ  
 合田益己

## ご挨拶

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

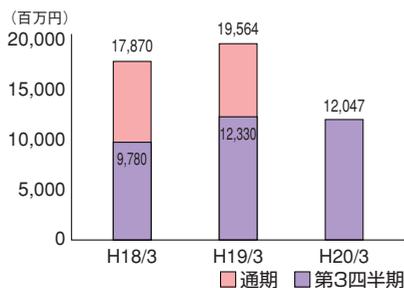
あらためて御礼申し上げるとともに、第7期第3四半期報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

当第3四半期の当社を取り巻く経営環境は、ノンバンク市場の先行き不透明感等の影響を受け当社財務格付、サービス格付が低下するなど非常に厳しい状況が続いており、厳格な投資判断による慎重な営業体制としたことから、今期投資実績(当ページ下欄グラフをご参照下さい。)は、前年同期を大きく下回る結果となりました。

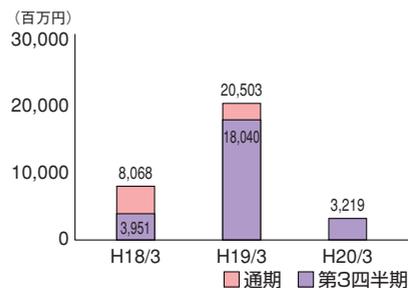
一方、業績面におきましては、概ね計画通りに進捗しておりますので、現在のところ通期業績予想の変更はございません。(予想数値につきましては2ページ下欄のグラフをご参照下さい。)

冒頭でも申し上げましたとおり、当社グループを取り巻く経営環境は非常に厳しい状況が続いておりますが、全社一丸となってこの難局を乗り越えるべく努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

債権買取額(投資額)



不動産買取額(投資額)



なお、親会社NISグループ株は、財務基盤の強化と更なる事業拡大を目的として、世界で有数の運用資産規模をもつプライベート・エクイティ投資会社TPGと戦略的資本・事業提携を行うことに合意し、平成20年2月20日付でTPGが運営する投資媒体を割当先とする第三者割当による新株式を発行し、払込が完了しております。

## 連結業績概要

当第3四半期連結会計期間の債権買取額（投資額）は12,047百万円（前年同期比2.3%減）、買取債権残高は31,093百万円（前期末比1.3%減）となりました。また不動産買取額（投資額）は3,219百万円（前年同期比82.2%減）、買取不動産残高は19,671百万円（前期末比1.2%増）となりました。

営業収益につきましては、買取債権回収高は15,453百万円（前年同期比15.1%増）、買取不動産売却高は4,326百万円（同75.5%増）、その他収入4,339百万円（同191.3%増）となり、合計では24,119百万円（同38.7%増）となりました。

営業費用につきましては、買取債権回収高に伴う債権回収原価10,805百万円（前年同期比21.5%増）、不動産売却に伴う

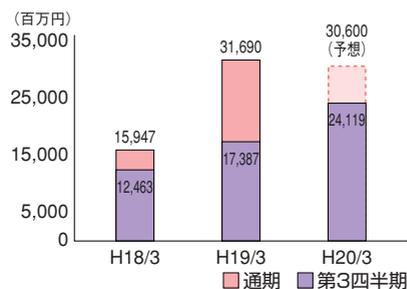
買取不動産売却原価3,837百万円（同187.3%増）となり、その他原価85百万円（同120.8%増）を合わせ、合計では14,728百万円（同43.4%増）となりました。この結果、営業総利益は9,391百万円（同31.9%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、主に給料手当496百万円（前年同期比17.2%増）、貸倒引当金繰入額1,222百万円（同12.6%増）、債権回収費用486百万円等を計上し、合計3,675百万円（同28.4%増）となりました。この結果、営業利益は5,715百万円（同34.3%増）となりました。

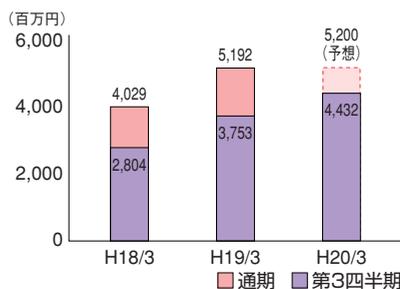
営業外収益は27百万円（前年同期比75.9%減）となり、営業外費用につきましては、主に資金調達拡大に伴う支払利息935百万円（同64.8%増）等により、合計で1,311百万円（同112.4%増）となりました。この結果、経常利益は4,432百万円（同18.1%増）となりました。

また、特別利益10百万円、法人税関連費用1,942百万円（前年同期比41.1%増）、少数株主利益85百万円（同81.1%減）の計上により、第3四半期純利益は2,415百万円（同25.7%増）となりました。

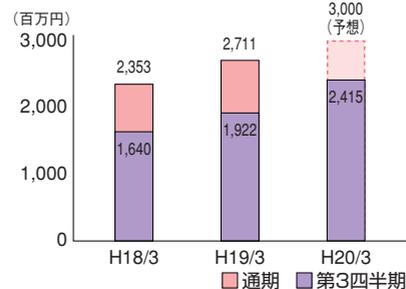
営業収益の推移



経常利益の推移



四半期(当期)純利益の推移



## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

区 分	前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (平成19年12月31日現在)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	55,700	54,675
現金及び預金	5,750	2,577
買取債権	31,508	31,093
買取不動産	19,439	19,671
繰延税金資産	892	1,239
その他	755	3,118
貸倒引当金	△2,645	△3,025
固定資産	6,769	6,021
有形固定資産	30	29
無形固定資産	8	7
投資その他の資産	6,729	5,985
資産合計	62,470	60,696
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	30,617	36,218
短期借入金	14,171	16,082
1年内返済予定長期借入金	13,412	17,060
1年内償還予定社債	160	160
未払法人税等	1,309	1,607
賞与引当金	—	99
役員賞与引当金	19	11
その他	1,545	1,197
固定負債	22,094	12,847
社債	380	800
長期借入金	21,713	12,047
その他	1	0
負債合計	52,711	49,066
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	8,561	10,102
資本金	1,731	1,736
資本剰余金	1,517	1,522
利益剰余金	5,313	6,843
評価・換算差額等	△0	△101
その他有価証券評価差額金	—	△101
繰延ヘッジ損益	△0	△0
新株予約権	114	103
少数株主持分	1,082	1,526
純資産合計	9,758	11,630
負債及び純資産合計	62,470	60,696

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

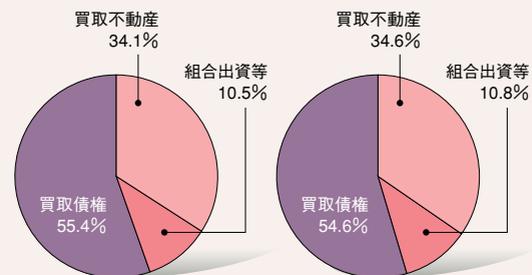
## 営業資産について

H19/3

合計 56,943百万円

H19/12

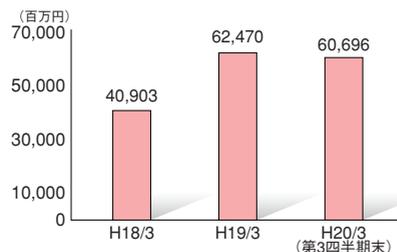
合計 56,940百万円



## 有利子負債について

当第3四半期の有利子負債合計は、前期末比7.4%減の46,149百万円、期末加重平均調達金利は2.9%（前期末2.5%）と上昇いたしました。

## 総資産の推移



四半期連結損益計算書

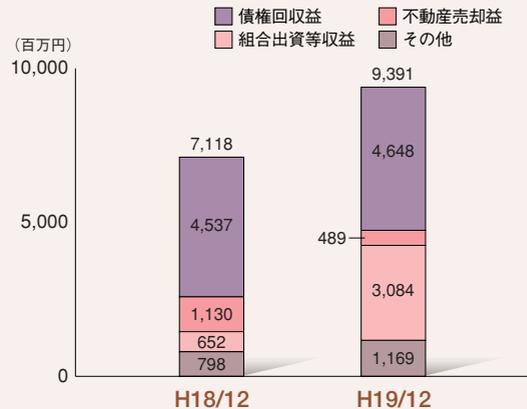
(単位:百万円)

区分	前第3四半期連結会計期間 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日)
営業収益	17,387	24,119
買取債権回収高	13,432	15,453
買取不動産売却高	2,466	4,326
その他	1,489	4,339
営業費用	10,269	14,728
債権回収原価	8,894	10,805
買取不動産売却原価	1,335	3,837
その他原価	38	85
営業総利益	7,118	9,391
販売費及び一般管理費	2,863	3,675
営業利益	4,255	5,715
営業外収益	116	27
営業外費用	617	1,311
経常利益	3,753	4,432
特別利益	1	10
特別損失	2	—
税金等調整前第3四半期純利益	3,752	4,443
法人税、住民税及び事業税	1,270	2,297
法人税等調整額	106	△355
少数株主利益	453	85
第3四半期純利益	1,922	2,415

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業総利益について

新規ビル開発の進捗に伴い、組合出資等収益の比率が増加しております。



主要な経費について

- ①給料手当496百万円(前年同期423百万円)  
営業・管理部門を中心に人員が増加しております。  
従業員数 H18/12 82名 → H19/12 110名
- ②貸倒関連費用1,222百万円(前年同期1,088百万円)  
貸倒引当率 H18/12 7.9% → H19/12 9.7%
- ③その他、大型案件の債権回収費用として370百万円を計上しております。

支払利息について

調達金利の上昇に伴い、支払利息は935百万円(前年同期比64.8%増)となりました。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	前第3四半期連結会計期間 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17,970	△2,595
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,695	3,622
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,195	△3,839
現金及び現金同等物の増加額	1,920	△2,812
現金及び現金同等物の期首残高	2,264	5,390
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	213	—
現金及び現金同等物の第3四半期末残高	4,397	2,577

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 営業活動によるキャッシュ・フローについて

主に買取債権に係る資金の純減額が1,241百万円(前年同期は3,435百万円の純減)、法人税等の支払額が2,300百万円(前年同期比14百万円増)となったことによるものであります。

## 投資活動によるキャッシュ・フローについて

投資有価証券に係る資金の純増額が3,738百万円と償還額が取得額を上回ったことによるものであります。

## 財務活動によるキャッシュ・フローについて

主に短期借入金の純増額が1,910百万円(前年同期比5,919百万円減)、長期借入金の純減額が6,017百万円(同16,718百万円減)と有利子負債の圧縮がすすんだことによるものであります。

## 四半期連結株主資本等変動計算書 当第3四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等			新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計			
平成19年3月31日残高	1,731	1,517	5,313	8,561	—	△0	△0	114	1,082	9,758
第3四半期連結会計期間中の変動額										
新株の発行(新株予約権の行使)	5	4	—	10	—	—	—	—	—	10
剰余金の配当	—	—	△884	△884	—	—	—	—	—	△884
第3四半期純利益	—	—	2,415	2,415	—	—	—	—	—	2,415
株主資本以外の項目の第3四半期 連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	△101	0	△101	△10	444	331
第3四半期連結会計期間中の変動額合計	5	4	1,530	1,540	△101	0	△101	△10	444	1,872
平成19年12月31日残高	1,736	1,522	6,843	10,102	△101	△0	△101	103	1,526	11,630

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 多くのご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

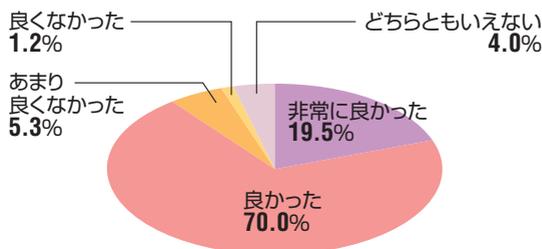
本誌前号(第7期中間報告書)において実施させていただいた株主様アンケートに、平成20年1月31日現在1,154通のご回答を賜り、誠にありがとうございました。

集計では、中間報告書の内容について、9割近い皆様から「非常に良かった」ないし「良かった」とのご感想をいただきました。内容面では、立川駅前の大型複合商業ビル開発プロジェクトに関する特集記事に大きな関心が寄せられています。「不動産案件の実例掲載により事業が理解でき、親しみを感じた」「当初計画を大幅に上回る理由となった事業内容を具体的に知ることができ、良かった」「今後の予定プロジェクトについても載せてほしかった」といった具体的な声を多数ご記入いただきました。

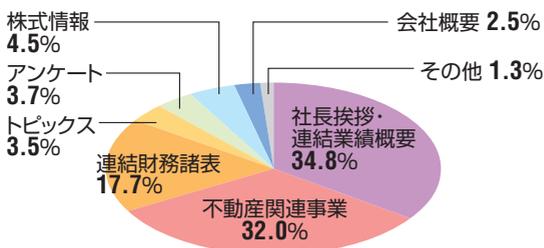
報告書の内容へのご要望としては、「中国案件のその後について知りたい」「専門用語が多用されており、ややわかりにくい」「子会社・関連会社に関する情報を掲載してほしい」との声が寄せられています。今後の誌面づくりにおける課題として検討させていただきます。

また、株価の状況やNISグループとしての動向に関するご意見も多く見られました。当社は、いただいた貴重なご意見を経営に活かし、株主重視経営による事業の発展を通じて、皆様のご期待にお応えしてまいります。

今回の中間報告書をお読みいただき、  
どのような感想をお持ちになりましたか？



そのように感じた項目をご記入下さい。



### ● 株主様アンケートにご協力をお願いします。

当社では、本誌「IR PERSONALITY」を株主の皆様と当社を結びコミュニケーションツールとして活用してまいりたいと存じます。同封のアンケート葉書を通じて、株主の皆様のご意見をお寄せ下さい。お寄せいただいた内容は、今後の経営および「IR PERSONALITY」の誌面作成に活かしてまいります。アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で1,000名様に図書カード(500円)を進呈いたします。(締切：平成20年4月30日(水)当日消印有効)

### ● 個人情報の取り扱いについて。

当アンケート葉書にご記入いただきました個人情報については、その使用目的を次の3つの事項に限定し、他の用途に使用することは決してございません。

また、情報の管理については十分に注意いたします。

- ① アンケートご回答の分析
- ② 図書カードの送付
- ③ 個人株主様あてIR活動に関するお知らせの送付

## 会社の概要

(平成19年12月31日現在)

商号	ニッシン債権回収株式会社 (NISSIN SERVICER CO., LTD.)
設立	平成13年7月11日
本社	東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル8F TEL.03-5326-3971(代表)
営業許可	平成13年10月25日(法務大臣許可番号第58号)
資本金	17億3,607万円
従業員数	110名

## 役員

(平成19年12月31日現在)

代表取締役社長兼執行役員	合田 益己
常務取締役兼執行役員	山口 達也
取締役兼執行役員	森泉 浩一
取締役兼執行役員	豊嶋 秀直 (弁護士)
取締役	清水 克敏
取締役	嵯岡 秀夫*1
常勤監査役	森田 昌弘
常勤監査役	大森 廣行
監査役	吉本 修二**2
監査役	山田 啓之**2

\*1 取締役嵯岡秀夫は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
\*2 監査役吉本修二および山田啓之は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員	土居 昭広
執行役員	伊藤 正男

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 中間配当 9月30日 期末配当 3月31日
株式の売買単位	1株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社

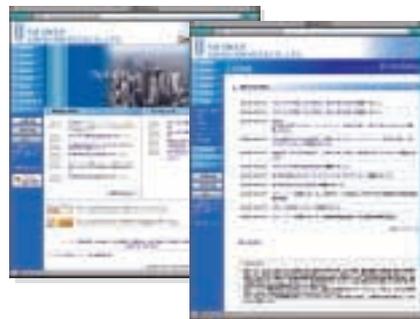
## 関係会社一覧

(平成19年12月31日現在)

連結子会社	有限会社ジェイ・ワン・インベストメンツ 有限会社ミヤコキャピタル 有限会社ジェイ・ツー・中国投資 他22社
関連会社	有限会社シー・エヌ・キャピタル 有限会社シー・エヌ・ツー 有限会社シー・エヌ・スリー 有限会社シー・エヌ・フォー 有限会社シー・エヌ・インベストメンツ ストラテック株式会社 他5社
親会社	NISグループ株式会社 (ニューヨーク上場NIS・東証一部8571)

## ホームページ

<http://www.nissin-servicer.co.jp>



同事務取扱場所	〒135-8722 東京都江東区佐賀1丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324
同取次所	みずほ信託銀行株式会社全国各支店 みずほインベストアーズ証券株式会社本店 および全国各支店
公告の方法	電子公告により行います (http://www.nissin-servicer.co.jp)

[将来予測に関する記述について] 本資料には、当社グループの意図、信念、現在および将来の予測、または連結、個別の業績、財務状況に関する経営陣の意図、信念、現在および将来の予測に関する記述が収録されており、記載されている歴史的事実以外の将来に関するすべての記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であります。かかる将来予測に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、潜在的なリスクや不確実性を伴うものであり、実際の業績はさまざまな要因により将来予測に関する記述とは大きく異なる可能性がありますのでご留意下さい。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要なかつ予測不可能な影響も含まれます。